

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	ターミナルケアについて、今後、死生観について職員の研修を行い終末期のあり方を支援すること。	「死」について職員自身が考え、そのうえで、本人や家族にとってもっとも望ましい看取りを支援していく。	終末期の利用者に対して、不安な事等を職員で話しあったうえで、死生観の勉強会を行う。	3ヶ月
2	35	火災や地震、水害等の災害時に、利用者がすばやく避難できるように、地域との協力体制を築くこと。	地域との協力体制を築き、火災や地震、水害等の災害時に利用者をすばやく避難できるようにする。	月に1度、利用者とともに最終避難場所に出て、外出を兼ねた練習を行う。運営推進会議で地域との協力、避難場所、救助の方法等を話し合う。消防署の救助時、利用者をすばやく救助できる工夫を話し合う。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。